

平成30年度第1回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成30年6月19日(火曜日)林野庁入札室			
委員		前原 一彦(公認会計士) 石井 麦生(弁護士) 近田 直裕(公認会計士、税理士)			
審議対象期間		平成30年1月1日～平成30年3月31日			
審議対象案件		8件	うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件		
抽出案件		3件 (抽出率 38%)	うち、1者応札案件 1件 (抽出率 50%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 - %)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		物品・役務等	一般競争	2件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	随意契約(企画競争・公募)		1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	随意契約(その他)		1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	(特記事項) ・抽出の3件については、契約金額が大きい契約、落札率の高かった契約等を抽出した。				
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問		
			回答等		
		(詳細に記述すること。)			
		(詳細に記述すること。)			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
[これらに対し部局長が講じた措置]		<div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div>			

事務局：林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>抽出契約について 〔抽出番号1：平成29年度空中写真ネガフィルムのデジタル化業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR東日本コンサルタンツ(株)(以下、「JR」)の入札価格は420万円程であり、落札者の(株)エアロ・フォト・センターの入札価格は230万円程となっており、JRの半分程の価格ですが、この価格差の要因については分析できていますでしょうか。 ・業務内容はネガフィルムをスキャンすることだと思いますが、スキャナーは特殊なものでしょうか。 ・仕様書にデジタル化する枚数は約1,500枚と記載がありますが、スキャンするだけの作業であれば、契約額の約200万円もかからないでできるのではないかと思いますがいかがでしょうか。 ・応札は3者ですが、スキャナーさえあれば応札可能であり、もっと応札があってもいいように感じますがいかがでしょうか。 <p>〔抽出番号2：基本図等作成のための稼働環境の確保業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札企業には、林野庁を退職し再就職している方が2名いますが、退職直前はどのような役職にいた人達でしょうか。 ・入札執行調書によると応札は2者あり、契約内容はソフトが搭載されたハ 	<ul style="list-style-type: none"> ・この業務は平成28年度までは空中写真保管庫等管理業務の一部であり、平成29年度に初めて単体で発注しているため、実績が少なく要因については不明なのですが、人件費やスキャナーの費用が影響してくるものと思われます。 ・オフィスにあるような通常のものより精度の高いものです。 ・一般のスキャナーとは違う特殊なものを使い、高精度なスキャンを実施するために時間を要することやネガフィルムは1枚ずつカットされており人の手で入れ替える必要があるため、手間がかかってしまうなど、必然的に人件費部分が増える傾向にあります。 ・機械がかなり特殊なもののように業者が限られてしまうのだと思います。 ・退職時は1名が森林管理局長、もう1名が森林管理署長です。 ・この2者からは参考見積りをとっていますが、価格の9割以上を物品

ードを納入することなので、差がでないと感じますが、入札価格は645万と560万であり80万以上の開きがありますが、どのような分析ができますでしょうか。

・応札した2者の全省庁統一参加資格のランクは何でしょうか。

・ソフトウェアとパソコンを別々に発注することに問題があるのでしょうか。

・既存のソフトと既存のパソコンですので、もっと応札があってもいいと思いますがいかがでしょうか。

〔抽出番号3：平成29年度「クリーンウッド」利用推進事業のうち木材関連事業者の登録促進（建築・建設関連）〕

・落札企業には、林野庁を退職し再就職している方が2名いますが、退職直前はどのような役職にいた人達でしょうか。

・クリーンウッドの事業を受託できる業者はここ以外にいないのでしょうか。

が占め、GISソフトは同じ単価でしたので、ハードのパソコンで差がついたのだと考えています。

・アジア航測株式会社はBランク、昇寿チャート株式会社はCランクです。

・パソコンは職員が通常使用しているスペックのものではGISソフトに対応できないため、よりスペックの高いものの調達が新たに必要となったもの。ソフトウェアと一括で発注することが効率的であり、分割発注と比べ価格を抑えられると考えています。

・ソフトウェアのArcGISの代理店を確認したところ、全国に約50社程度ありましたので、もっと応札があってもいいように感じています。

・日本住宅・木材技術センター（以下、「住木センター」）には林野庁出身が1名、国土交通省出身が3名おり、林野庁出身者は森林管理局長を経験しています。

・クリーンウッド法自体についての知識がある者は他にもいますが、この事業は建築・建設に関連するものであり、クリーンウッド法と建築・建設両方の知識を持ち合わせている者が応募してきたと考えています。林野庁の所管する製材や木材の加工などの木材産業とは異なる分

	<p>・この法律は途上国での伐採等の合法性を確認し、違法に伐採されたものは使わないためのものと考えていいでしょうか。</p> <p>・直接人件費の内訳として技術者給がありますが、技術者の業務内容は何でしょうか。</p> <p>その他</p> <p>・委員会としての意見はなし。</p>	<p>野である建築・建設については、国土交通省の所管でありますし、業界に関する特徴も踏まえる必要がありますので、住木センターが応募してきたのだと考えています。</p> <p>・内外無差別の制度ではありますが、輸入材については、まず、商社が合法性の確認をして、輸入する必要があります。これは、本事業とは別に、木材産業分野の登録・促進のための予算を当初予算で組んでいます。ハウスメーカー等の最終需要者の方達にもクリーンウッドに意識を持っていただき、登録をしていただければ、輸入業者のインセンティブにも繋がり、登録が促進されていくと考えています。</p> <p>・意向調査、報告書作成、協議会の開催、運営委員会の実施等にかかる人件費になります。</p>
--	---	---